

○岡山支部十二月通信

一、天文講演會 一日午後三時半から邑久高等小學校で邑久郡理科研究會主催の許に左記の講演があつて引續き夜に入つて實地觀望午後九時散會した。

曆にある星座 水野支部幹事

二、天界研究會 第二土曜日(八日)午後七時から、例によつて宮原幹事宅にて開會。

三、家庭宣傳 十二日夜金川中學校長宅。

四、六時望遠鏡 十七日から月末にかけて、神戸市化粧品商中谷作太郎氏はカフエー・アラツル岡山支店バルコニーに、獨逸製六時望遠鏡を据付け、晝は太陽及び景色を、夜は主として月を、一般の人々に觀望せしめられた事は天文に關する知識普及の爲めにより思付きてあつた。

「天文雜誌」第三十五號掲載の正誤表

誤 正

二一頁下段三二行 上流の月 上弦の月
三二 上段一九行 三十八粒 二十七粒
同 同 三粒半 ○二五粒
同 中段二行 の星 α星
同 同 六行 白魚座 白鳥座

二三頁下段一九行 日、月。
一六頁上段二五行 然らざる 然らしむる

同 同 末行 幸進 幸甚

○海外通信

謹啓

暫く御ぶさた致しました、皆様御變り御座いませんが、東京の震災に御親族の御災難はありませんでせうか。

降つて小生等至つて壯健に消光致して居ります、豫定の如く日食(之れば曇り)の序てを以つて去る七月中旬より十月末までマウン・ウイルソンに滞在致し、そこでは幸ひにスミソニアン インスチテュションのアポト氏とウイルソン 臺長アダムス氏との好意により「太陽活動と太陽恒数との關係」を研究致しました。つまりアポト氏が *Proceeding of the National Academy of Science, U. S. A., Vol. 9, No. 10, p. 355 (1923 October)* に發表したものの材料から出發した研究でありまして、十月に入つてから意外にも非常に面白き結果に到着し、アポトもアダムスも喜んでくれました。十月末パサテナを出る前三十頁ばかりの一論文に纏めて提出して置きました。

(二四)

た。多分近い内に *Astrophysical Journal* に載せられるだろうと思ひます。此の研究は *Spectroheliograph* の結果を *Magnetic polarity of Sun-Spot* の結果を材料として用ひましたため、副産物も可なり多く、又、私として太陽の實際觀測上にも又と得難き經驗を得たことを喜んで居ります。

尚ケンブリヂへは十一月十二日に着きました。主として變光星の觀測及び研究を致しますことになりました。天氣が好くないのか、はらず、意外に多くの人の活動してゐるのを愉快に思ひます、小生昨日までに *Andrew medea* の不規則な光度曲線を終りました、之は *Shapley's Cannon* がくれた問題ですが、近い内に *H. O. Bulletin* に發表されることと思ひます。今日から *RX Pupis* にかゝります。

濠洲の會議は如何でございましたか。

ケンブリヂにて

十一月二十四日 山本一清

新城教授殿

○カント生誕の二百年祭

獨逸ケーニスブルクに千七百二十四年四月二十二日即ち今より二百年前に生れた哲學者インマヌエル カントの紀念祭が本年獨逸は勿論各國に於いて行はるゝ筈である。彼は人も知る如く星雲説の最初の首唱者の一人である。何れ本誌四月號に於て論ぜらるべし。